

あぶがわげんりゅうほぜんかい 阿武川源流保全会



長門峡 (ちょうもんきょう)



S L 山口号 (C571 責婦人)



県営ほ場整備事業

◆受益面積 183.6ha

◆実施年度 平成9年～平成19年

地域のシンボル「十種ヶ峰」(とくさがみね 989m)



やまぐちけん やまぐちし あとうかね
山口県山口市阿東嘉年

阿 武 川 源 流 保 全 会



農 業 者

農事組合法人 嘉年ハイランド

阿 東 土 地 改 良 区

集落協定連絡会 (中山間直接支払)

ゆ め 倶 楽 部

多面的機能支払交付金

農地維持活動

農用地	田	畑	草地	計
面積	241.01ha	29.28ha	16.59ha	286.88ha
農業用施設等	水路	農道	ため池	農地
数量	71.8 k m	32.5 k m	4箇所	-

資源向上活動 (長寿命化)

農用地	田	畑	草地	計
数量	233.21ha	27.93ha	14.57ha	275.71ha
農業用施設等	水路	農道	ため池	農地
数量	2.6 k m	0.9 k m	2箇所	-

農地維持活動（地域資源の基礎的保全活動）



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

みんなで考える 「夢のある嘉年の明日」 嘉年ゆめ倶楽部

地域の声を反映した住みよい快適な生活環境づくり、都市との交流活動等を通じて、嘉年地域の将来を見据えた活力ある地域づくりを実践している。



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

ビオトープの維持管理活動

ほ場整備事業において、農村環境保全を目的に生態系保全型水田整備の推進地区としてビオトープ（淵型、ため池型）を15箇所設置



水域に生育した植物

これらの水生植物は、魚類や水生昆虫類などの隠れ家や産卵の場として役立っている。



フトヒルムシロ



ヤナギモ



オモダカ



ミソソバ

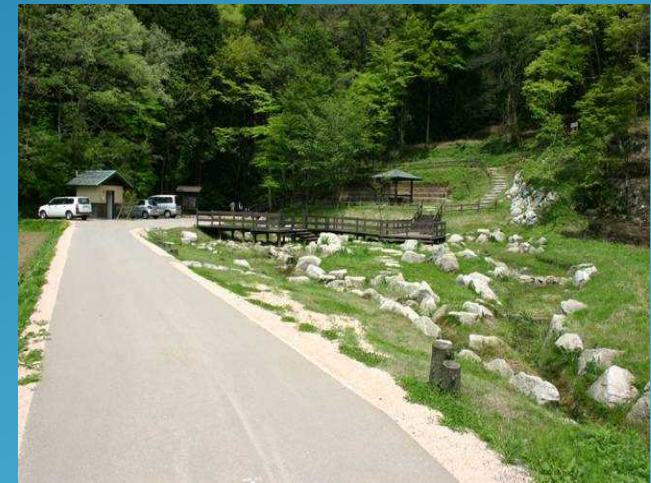
資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

水出の泉（みずいでのいずみ）

阿武川の源流である「水出の泉」を親水公園として整備しました。

今から、約**1100**年前にここを御領とした皇室は、この泉を阿武川水源地と定めた。この泉が最も長門国の高地にあることを尊び、豊かな湧出水に五穀豊穡を祈願した。

湿地型ビオトープ（親水型）



菖蒲の植栽



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

廃材を利用して自前で看板を設置。フラワーロードへ**2700**個のチューリップの球根植栽！
訪れる人々の気持ちを癒してくれる。同時に不法投棄もめっきり減少した。



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

フラワーロードへ**800**本のひまわりの苗を植栽。

フラワーロードは、毎年、多彩な植物で景観を演出している。

農村・都市交流を図るうえでも重要であり「花と緑と清流のある美しく住みよいむらづくり」をめざしている！



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

嘉年地区全域へユウスゲの植栽

保全会の構成員である「嘉年ゆめ倶楽部」が嘉年地区全域をユウスゲの里にしようと、水出の泉、各ビオトープ周辺、県道沿いの施設にユウスゲを植栽。

ユウスゲ・・・山地の草原に生え、高さは1～1.5メートル。7月から9月ごろ、淡黄色の花を咲かせます。花は夕方に開き、翌日の午前中に凋みます。



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

カメムシは、発生場所が分かっても、その草や樹木を刈り取ってしまうなどしなければ発生を繰り返すので、根本的な解決は難しい害虫である。そこで、・・・

カメムシ駆除に田んぼの畦道等に
「アップルミント」を植栽！



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

生物の生息状況の把握とほたるの幼虫600匹を15ヶ所のビオトープ放流

調査により確認された生物種のうち、嘉年地区の水田生態系を考慮する上で重要な12種類



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

農村環境保全活動（学校教育との連携）

ゆめ倶楽部の会員の農家で、農業体験学習を通じて「農業」や「地域」のことを考えようとスタートしました。生命の尊さや自然の摂理も子供たちは、感じてくれていると思います。



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動） 農村環境保全啓発普及グッズと水質保全

（濁水防止のための浅水代かきの研修会と実践状況）

毎年約**300**個のグッズを関係者に配布して啓発を呼びかけている。

H22 ボールペン



H23 エコバック



H24 タオル



H25 ソーラーライト



資源向上活動（地域資源の質的向上を図る共同活動）

多面的機能の増進を図る活動・・・地域住民による直営施工

（抑草シートの設置・・・総延長約6km）



資源向上活動 (施設の長寿命化のための活動)

土水路をコンクリート水路に更新等 **2.2 km**
未舗装農道をコンクリートやアスファルト舗装に更新 **0.9 km**
ため池の補修・更新 (漏水補修・管理用コンクリート底版の設置) **2 箇所**



平成25年7月28日 阿武川源流保全会エリアの豪雨災害状況

日本海側に暖かく湿った空気が流れ込み積乱雲の発達がとまらなかった影響で、山口市では1時間に**143.0**ミリの観測史上最多の大雨が降った。気象庁は、緊急会見の中で「これまでに経験のない大雨が降っている」と発表して河川の氾濫や土砂崩れなど大きな災害が起こる恐れがあり、「命を守る行動をとってほしい」と最大級の警戒を呼びかけた。

「一生に一度」「**50年に1度**」と言われる非常に強い豪雨で県内では甚大な被害が発生し阿武川源流保全会のエリアにおいても多数の農業用施設等（水路や農道）が被災した状況にある。 【被災した**ABCD**箇所】



異常気象による応急措置作業

田には、土砂流入。水路は土砂埋没。
農道は分断。機械計器類も損傷。抑草シートは
捲り上がった。懸命な応急措置が始まった。



平成26年10月中旬 災害復旧作業進捗状況

現在も災害復旧は続いている。被災した農地等を懸命に復旧しているが、1年前の豪雨の爪痕は大きい。
しかし、地域への愛着と再生をめざす保全会のメンバーが、ここにはいる。 【復旧したABCD箇所】



豪雨災害から約1年半・・・ふるさと再生に挑む

第20回 嘉年かかし祭り



ブランド米 「阿武川源流米」



復興を願う藁の手作りお地蔵様